

サブサハラアフリカにおける初等教育普及政策 および行財政制度に関する比較分析

神戸大学
西村 幹子

1. 目的

- (1) サブサハラアフリカの初等教育のあらゆる課題に対応するにあたり要となる初等教育普及(UPE)政策と行財政制度を、数カ国の比較という視点から分析する。
- (2) サブサハラアフリカ諸国の初等教育の改善のために必要な体制・制度づくりのために、より地域および各国のニーズに合った教育政策や方針、援助の実施方法について提言を行う。

2. 活動

対象地域 サブサハラアフリカ(ガーナ、ケニア、マラウイ、ウガンダ)

- (1) サブサハラアフリカ地域における UPE 政策の共通分析フレームワークの作成
 - ① 行政、財政、政策、ステークホルダーの認識、教育パフォーマンスにおける様々なギャップの分析
 - ② 上記をまとめた国レベルのカントリーステータスレポートの作成
- (2) 同地域における UPE 政策および初等教育行財政制度の共通課題および各国に特有の課題の把握
 - ① 上記(1)を踏まえた、ディストリクトレベルにおける調査枠組みの設定
 - ② 4カ国におけるフィールドワークの実施
 - ③ 4カ国の状況を比較できるリソースブックの作成
- (3) アフリカアジア大学間対話プロジェクトのネットワークを活用した研究者との研究交流の強化
 - ① アフリカアジア大学間対話プロジェクトへの参加・本事業の成果発表および討議
 - ② 国際会議、国際学会における発表
- (4) アフリカおよびアジアの研究者との協力を通じた課題に対する共同政策の提言
 - ① 上記(1)～(3)を踏まえた4カ国共通の政策的示唆の抽出
 - ② 各国におけるフィードバックワークショップの開催
 - ③ 共同政策提言書の作成と知見の共有

3. 成果

- (1) 期待する成果
 - ① サブサハラアフリカ地域の初等教育政策に関する共通の分析フレームワークが形成される。
 - ② サブサハラアフリカの初等教育普及政策および行財政制度が体系的に比較できるようになる。
 - ③ 日本側とアフリカ側の共同研究による共同政策提言が得られる。

(2) 成果物

カントリーステータスレポート、リソースブック、および共同政策提言書

サブサハラアフリカにおける初等教育普及政策および 行財政制度に関する比較分析

神戸大学

目的

1. 初等教育普及(UPE)政策と行財政制度について数カ国の比較分析を行う
2. 地域および各国のニーズに合った教育政策や方針、援助の実施方法について提言する

サブサハラアフリカにおける
UPE政策の広まりに伴う問題

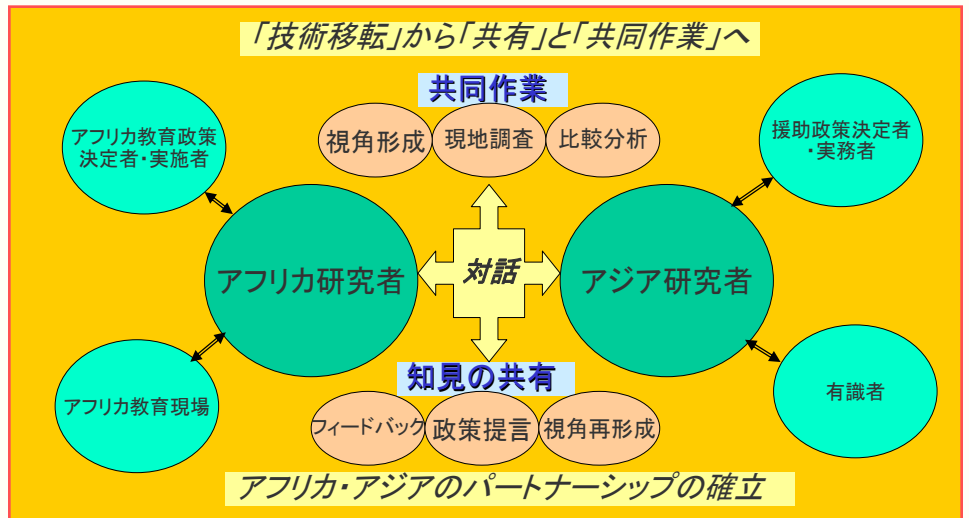
- 画一的な教育政策や行財政制度
- 各国のニーズや課題の分析不足



活動



共通分析フレーム
ワークの作成



共通課題および各国に特有の課題の把握

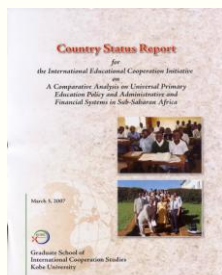


研究交流の強化



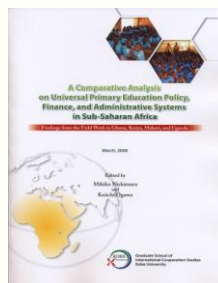
共同政策の提言

成果



カントリーステータスレポート

体系的な問題把握



リソースブック

現地調査を踏まえた比較分析



共同政策提言書

● 各国の教育政策・教育計画の改善

● より現地のニーズに合った国際協力の実現

H20年度「国際教育協カイニシアティブ」事業
第一回報告会

「サブサハラアフリカにおける初等
教育普及政策および行財政制度
に関する比較分析」



2009年2月26日
神戸大学国際協力研究科
課題代表者 西村 幹子

■ 発表概要



1. 事業の目的
2. 事業の概要
3. 具体的な活動内容・成果
4. 成果物作成に向けた進捗状況

■事業の目的

- ① サブサハラアフリカの初等教育のあらゆる課題に対応するにあたり要となる初等教育普及政策と行財政制度を、数カ国の比較という視点から分析する
- ② サブサハラアフリカ諸国の初等教育の改善のために必要な体制・制度づくりのために、より地域および各国のニーズに合った教育政策や方針、援助の実施方法について提言を行う

■事業の概要①:事業の成果

- サブサハラアフリカ地域におけるUPE政策の共通分析フレームワークの作成
- 同地域におけるUPE政策および初等教育行財政制度の共通課題および各国に特有の課題の把握
- アフリカアジア大学間対話プロジェクトのネットワークを活用した研究者との研究交流の強化
- アフリカおよびアジアの研究者との協力を通じた課題に対する共同政策の提言



各国の教育政策・教育計画の改善、より現地のニーズに合った国際協力の実現を目指す

■ 事業の概要②: 活動対象国と活動体制

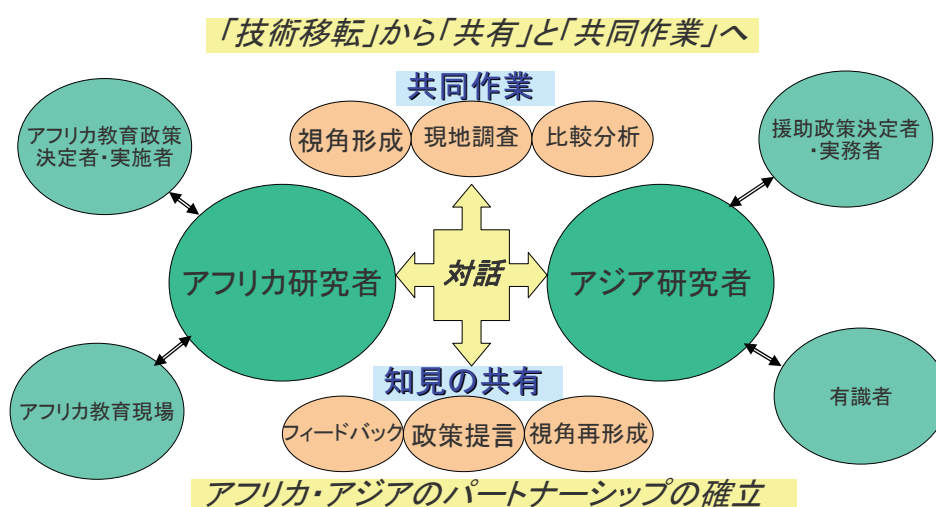
担当国／地域	日本側	アフリカ側
ケニア	澤村信英 (広島大学)	ダニエル・シフナ (ケニヤッタ大学)
マラウイ	小川啓一 (神戸大学)	ジョゼフ・チモンボ、デミス・クンジェ (マラウイ大学)
ガーナ	山田肖子 (名古屋大学)	ガーティ・アンピア (ケープコースト大学)
ウガンダ	西村幹子 (神戸大学)	アルバート・ビヤムギシャ (ウガンダ教育省)
地域全体	高橋基樹(神戸大学): アフリカ地域研究への助言	

4

Copyright (C) 2006 Kobe University. All Rights Reserved.



■ 事業の概要③: 活動方法イメージ



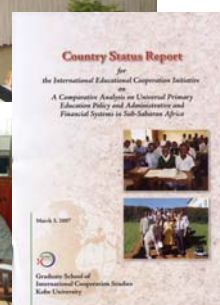
5

Copyright (C) 2006 Kobe University. All Rights Reserved.



■ 活動内容①: 共通分析フレームワークの作成

- 行政、財政、政策、ステークホルダーの認識、教育パフォーマンスにおける様々なギャップの分析
- 国レベルのカントリーステータスレポートの作成



6

Copyright (C) 2006 Kobe University. All Rights Reserved.



■ 比較教育政策分析フレームワーク

- 1. 業績ギャップ (Performance Gap):
アクセス、質、効率性、マネージメントの観点から、各国の初等教育の業績におけるニーズの検証
- 2. 財政ギャップ (Financial Gap):
財源と教育ニーズとの比較を通じた、教育政策と実際の財政規模、形態の検証
- 3. 行政ギャップ (Administrative Gap):
初等教育普及政策実施のための政府の能力と実際のタスクの検証
- 4. 政策ギャップ (Policy Gap)
政策文書に記載されている事柄と実際に実施されている事柄の検証
- 5. 認識ギャップ (Perception Gap)
政策文書に記載されている事柄と実施者・裨益者の政策に関する考え方のずれの検証

7

Copyright (C) 2006 Kobe University. All Rights Reserved.

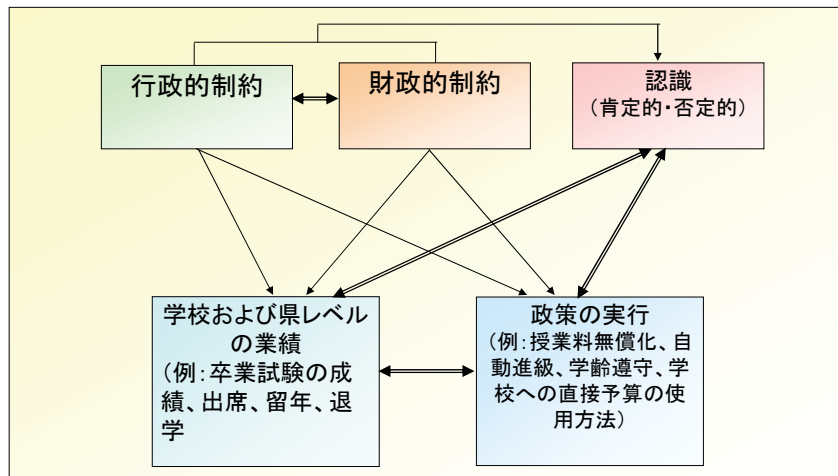


■ 活動内容②: 共通および各国特有の課題の把握

- 活動①を踏まえた、ディストリクトレベルにおける調査枠組みの設定
- 4カ国におけるフィールドワークの実施
- 4カ国の状況を比較できるリソースブックの作成



■ 調査枠組み



■ 現地調査の焦点・問い

1. UPE政策の下における初等教育普及のための行政的制約は何か。
2. UPE政策下における初等教育普及のための財政的制約は何か。
3. ステークホルダーはUPE政策をどのように見ているか。
4. 行政的、財政的、認識的課題について、都市部と農村部あるいは地域別に違いがあるか。
5. 行政的、財政的、認識的要因はどのように関わりあっているか。
6. その関わり方は都市部と農村部でどのように異なっているか。

■ 事業内容③: 研究者との研究交流の強化

- アフリカアジア大学間対話プロジェクト (AA Dialogue)への参加・本事業の成果発表および討議
- 国際会議、国際学会における発表



■ 知見の共有

■ 海外

- 2006年11月：カンパラにおけるアフリカアジア大学間対話プロジェクトの国際会議における発表
- 2007年12月：パリ・ユネスコ本部におけるアフリカアジア大学間対話プロジェクトの国際会議における発表
- 2008年3月：ニューヨーク・コロンビア大学における比較国際教育学会における国際的な研究者・教育開発援助実務者への成果発表
- 2008年9～10月：マラウイ、ウガンダ、ケニア、ガーナにおける関係省庁、地方政府、援助機関、校長等のステークホルダーを対象としたフィードバックワークショップの開催

■ 国内

- 2007年3月：神戸大学における国内の教育協力関係者に対するアフリカ側共同研究者との共同発表
- 2007年7月：筑波大学で開催された日本比較教育学会におけるパネルの企画
- 2008年1月：神戸大学における国内の教育協力関係者に対するアフリカ側共同研究者との共同発表
- 2008年6月：東北大学における日本比較教育学会におけるウガンダ、マラウイの事例発表
- 2009年2月：キャンパスイノベーションセンター（東京）における国内の有識者および政策決定者、実務者に対するアフリカ側共同研究者との共同発表



■ 事業内容④：共同政策の提言

- 各国におけるフィードバックワークショップの開催
- これまでの活動を踏まえた4カ国共通の政策的示唆の抽出
- 共同政策提言書の作成と知見の共有



■ 政策へのインパクト(例)



14

Copyright (C) 2006 Kobe University. All Rights Reserved.



■ 成果物に向けた進捗状況

■ 今年度までに出了された成果物

- サブサハラアフリカ地域の初等教育政策に関する共通の分析フレームワーク
- カントリーステータスレポート
- リソースブック

■ 今年度の進捗

- 4カ国において関連省庁、地方政府、援助機関を対象にフィードバックワークショップを開催
- ワークショップで受けたコメントを参考に各国の最終報告書(案)を作成
- 4カ国に共通した政策提言書(案)の作成

15

Copyright (C) 2006 Kobe University. All Rights Reserved.





*GSICS,
Kobe University*